



2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月11日

上場会社名 F I G株式会社 上場取引所 東・福
 コード番号 4392 URL http://www.figinc.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村井 雄司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 岐部 和久 (TEL) 097-576-8730
 社長室長
 四半期報告書提出予定日 2021年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	8,673	10.9	405	—	408	—	266	—
2020年12月期第3四半期	7,821	15.0	△194	—	△163	—	△315	—

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 527百万円(—%) 2020年12月期第3四半期 △293百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	9.12	8.99
2020年12月期第3四半期	△10.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	19,482	8,723	44.0
2020年12月期	15,294	8,311	53.4

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 8,576百万円 2020年12月期 8,167百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	6.4	500	—	468	—	294	73.8	10.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年12月期3Q	31,176,015株	2020年12月期	31,084,515株
② 期末自己株式数	2021年12月期3Q	1,918,296株	2020年12月期	1,918,220株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年12月期3Q	29,213,177株	2020年12月期3Q	28,890,418株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における売上高は8,673百万円（前年同期比10.9%増）、営業利益は405百万円（前年同期は194百万円の営業損失）、経常利益は408百万円（前年同期は163百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は266百万円（前年同期は315百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

世界的な半導体不足や材料費の高騰など懸念事項はあるものの、情報通信事業は好調を維持し、装置等関連事業についても営業黒字を確保できております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 情報通信事業

公共交通を中心としたペイメントサービスや業務用IP無線システムiMESHの導入が好調に推移しております。一部、新型コロナウイルスの影響は残るものの、徐々に緩和方向に向かっており、月額定額制によるストックビジネスへのシフトも進んでおります。

この結果、外部顧客への売上高は5,280百万円（前年同期比8.7%増）、営業利益は692百万円（同9.9%増）となりました。

② 装置等関連事業

新型コロナウイルスの影響により海外での装置立上業務のスケジュール調整、部材の納期長期化など苦戦はしているものの、工程管理や原価管理の徹底により収益状況は改善しております。

この結果、外部顧客への売上高は3,392百万円（同14.6%増）、営業利益は178百万円（前年同期は480百万円の営業損失）となりました。

③ 新規事業

「新規事業」は、主にマンション等の不動産賃貸事業であり、本書提出日現在においては該当の賃貸用マンションを建設中の為、当第3四半期連結累計期間における収益計上はありませんが、経費が先行して計上されたことにより営業損失は4百万円（前年同期は計上なし）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、19,482百万円となり、前連結会計年度末と比べ4,187百万円増加しました。これは主に現金及び預金が178百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が1,437百万円増加したこと、建設仮勘定が2,030百万円増加したことによるものであります。

負債合計は、10,759百万円となり、前連結会計年度末と比べ3,776百万円増加しました。これは主に未払法人税等が170百万円減少したものの、短期借入金が3,057百万円増加したこと及び長期借入金が692百万円増加したことによるものであります。

純資産合計は、8,723百万円となり、前連結会計年度末と比べ411百万円増加しました。これは主にその他有価証券評価差額金が259百万円増加したこと及び親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が120百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月12日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,341	2,163
受取手形及び売掛金	2,200	3,637
リース投資資産	1,898	1,950
たな卸資産	1,840	2,434
その他	205	232
貸倒引当金	△25	△28
流動資産合計	8,461	10,390
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,709	1,709
建設仮勘定	912	2,942
その他(純額)	1,584	1,516
有形固定資産合計	4,206	6,168
無形固定資産		
のれん	406	374
その他	446	438
無形固定資産合計	852	813
投資その他の資産		
投資有価証券	574	979
繰延税金資産	135	70
長期未収入金	886	886
その他	192	187
貸倒引当金	△15	△12
投資その他の資産合計	1,774	2,111
固定資産合計	6,833	9,092
資産合計	15,294	19,482
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	963	1,347
短期借入金	1,625	4,682
1年内償還予定の社債	316	216
1年内返済予定の長期借入金	811	664
未払法人税等	223	53
未払消費税等	83	97
賞与引当金	51	225
製品保証引当金	21	23
その他	628	471
流動負債合計	4,725	7,782
固定負債		
社債	33	25
長期借入金	1,926	2,619
役員退職慰労引当金	78	56
退職給付に係る負債	107	120
繰延税金負債	89	133
その他	22	21
固定負債合計	2,257	2,977
負債合計	6,983	10,759
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000	2,012
資本剰余金	3,839	3,852
利益剰余金	2,739	2,859
自己株式	△455	△455
株主資本合計	8,123	8,268
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45	305
為替換算調整勘定	△0	1
その他の包括利益累計額合計	44	307
新株予約権	126	131
非支配株主持分	17	15
純資産合計	8,311	8,723
負債純資産合計	15,294	19,482

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年9月30日)
売上高	7,821	8,673
売上原価	6,072	6,326
売上総利益	1,748	2,346
販売費及び一般管理費	1,942	1,941
営業利益又は営業損失(△)	△194	405
営業外収益		
受取利息	2	0
受取配当金	7	8
補助金収入	58	14
その他	6	5
営業外収益合計	75	28
営業外費用		
支払利息	19	24
固定資産除却損	15	0
その他	9	0
営業外費用合計	44	25
経常利益又は経常損失(△)	△163	408
特別損失		
段階取得に係る差損	10	—
特別損失合計	10	—
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△174	408
法人税、住民税及び事業税	180	157
法人税等調整額	△33	△12
法人税等合計	146	145
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△320	263
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△315	266

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△320	263
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39	259
為替換算調整勘定	6	3
退職給付に係る調整額	61	—
その他の包括利益合計	27	263
四半期包括利益	△293	527
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△290	529
非支配株主に係る四半期包括利益	△3	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大による影響)

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う渡航制限、不要不急の外出やイベントの自粛要請等により、当社グループの情報通信事業においては、サービス提供先であるバスやタクシーの需要減少及び宿泊需要減少の影響を受けております。また、装置等関連事業においても、自動車関連産業の生産調整等の影響により、納品及び検収の遅延や商談の延期が発生しております。

この状況は今後も一定程度継続するものと仮定しており、翌連結会計年度にかけて緩やかに回復していくものと想定しております。当第3四半期連結累計期間における会計上の見積り（繰延税金資産の回収可能性、固定資産の減損会計の適用等）についてはこの仮定を加味した予測数値により実施しております。

当社グループは、情報通信事業においてバスやタクシー事業者向け及びホテル事業者向けのサービスを展開しており、定額制システム利用の契約は順調に拡大しているものの、今後の経過によっては、当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に影響を及ぼす可能性があります。また、装置等関連事業においても、商談の延期や、顧客の受入検査体制次第では納品及び検収時期に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	情報通信事業	装置等 関連事業			
売上高					
外部顧客への売上高	4,859	2,961	7,821	—	7,821
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	66	66	△66	—
計	4,859	3,027	7,887	△66	7,821
セグメント利益又は損失(△)	629	△480	148	△343	△194

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△343百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は、主に持株会社である当社において発生するグループ管理費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間にInfoTrack Telematics Pte. Ltd及び同社の子会社であるInfoTrack Telematics Pvt. Ltdを連結の範囲に含めており、当第3四半期連結会計期間に株式会社プライムキャストを連結の範囲に含めております。これに伴い、「情報通信事業」のセグメントにおいて、のれんが392百万円発生しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	情報通信 事業	装置等 関連事業	新規事業			
売上高						
外部顧客への売上高	5,280	3,392	—	8,673	—	8,673
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1	89	—	91	△91	—
計	5,281	3,482	—	8,764	△91	8,673
セグメント利益又は損失(△)	692	178	△4	866	△461	405

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△461百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は、主に持株会社である当社において発生するグループ管理費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。